

国に対して 民泊法制化を 早期に 求める 意見書 を提出

昨今の国内外からの観光客増に伴い、いわゆる民泊についての課題が取り沙汰されています。

京都市においても平成26年には約5564万人の観光客が訪れ、また宿泊客も増加し、平成27年には平均客室稼働率がホテルは88・9%、旅館は70・1%であり、宿泊施設不足は深刻な問題となっています。それ

に伴い、多様な宿泊ニーズに対応するため民泊が増加し、許可を得て地域と良好な関係で営業するものがある一方、無許可あるいは地域とトラブルを起こす業者が後を絶たず、市民から騒音やゴミの苦情、火災の不安などが多く寄せられるようになってきています。そこで、民泊についてホテル・旅館に準じたルール

を設け、例えば所在地の経営者が特定できる状況とした上で、公衆衛生、防火・防災や防犯など管理責任の点で明確なルールを設ける

と同時に、その厳守を徹底させる策を盛り込むとともに、地域住民の安心・安全な生活環境を守り、社会不安が生まれないよう、地域

の現状に応じて運用できる法制化を早期に進めることを国に求めました。
自由民主党京都市議員団は、京都市会最大党派として責任をもって国に意見をし、市民の皆様とともに安心して住むことができ、喜んで来ていただけるまちづくりの全力を尽くしてまいります。



またきち (京都市会マスコットキャラクター)

自民党 京都市議員団 ニュース

平成28年(2016)6月26日発行

■発行人/井上与一郎
■編集委員/田中明秀、棕田隆知、しまもと京司
〒604-8571 京都市中京区河原町御池
TEL.075(222)3718~23 FAX.075(257)3091
http://jimin-kyoto.jp/

No.53

議員団ニュースのデザインがリニューアルされました!

熊本地震 京都市の対応

市民の安心・安全を守る 日頃の力を熊本地方へ

平成28年4月14日午後9時26分、熊本地方を中心に、震度7を観測する地震が発生し、また16日未明にも同等の本震が発生しました。この地震により、いのちを亡くされた方々に衷心より哀悼の意を表しますとともに、被災された方々にお見舞い申し上げます。



市消防局のヘリコプター「あたご」



第1次派遣隊出発式



被災地に赴くトラック

支援物資の積み込み



本市派遣職員への市長の激励

16隊50名
助隊(陸上部隊)
急消防隊
出動、緊急
市に向け
リが熊本
の消防へ
局航空隊
の消防へ
援助隊の出動要請を受け、4月16日午前5時30分、京

も、同日午前9時30分、京都市消防活動総合センター(南区)に集結し陸路で熊本(南区)に向かい、救命・救助・救急業務にあたりました。その後も各局より、市民の安心・安全を守るため日頃より培われてきた能力を集結し、全力を尽くして支援を行い、6月3日現在では、延べ506名の職員を

派遣しました。自由民主党京都市議員団といたしましては、過去の震災や大規模災害の教訓を生かし、京都市としてしっかりと議論を行い、想定外を作らない施策を執行、実現し、市民の安心・安全を守ってまいります。



またきち (京都市会マスコットキャラクター)

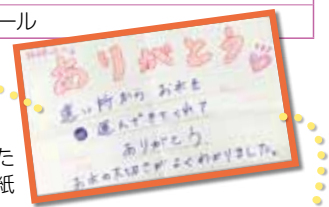
〔京都市の支援状況〕(平成28年6月3日現在)

局名等	活動内容	派遣開始日	派遣人数
各局区等	建物被害認定調査・り災証明発行業務	5月4日	50
	避難所運営支援	4月26日	83
環境政策局	災害廃棄物等の収集運搬	4月21日	68
京都市立病院	DMAT 災害派遣医療チーム	4月16日	5
教育委員会事務局	特別支援学級の運営補助	5月23日	4
局区等	避難所での食事管理等	5月1日	4
	避難所及び家庭訪問での健康調査	4月17日	60
建設局	被災宅地危険度判定作業	4月24日	8
行財政局	避難所の運営補助に係る調整要員	4月20日	3
消防局	緊急消防援助隊	4月16日	130
上下水道局	下水道の被害状況調査	4月19日	20
	給水活動	4月16日	36
都市計画局	水道給水管の漏水及び修繕	4月27日	18
	建築物の危険度判定	4月22日	8
文化市民局	被災宅地危険度判定作業	4月24日	4
	ボランティア派遣に伴う調整要員	4月22日	1
保健福祉局	被災地ボランティア活動支援	4月29日	1
	被災地ボランティア活動支援	4月29日	2
総計			506

●その他

市民ぐるみの活動及びそのサポート	
義援金	市内177箇所に義援金箱を設置
ボランティア	災害ボランティアセンターによるボランティアの派遣(40名)
介護	京都市老人福祉施設協議会から介護職員を派遣
手話通訳	京都市聴覚言語障害センターから手話通訳者を派遣
有料道路便宜	災害派遣等従事車両証明書の発行
本市での被災者受入れ	
住宅提供	被災者に対する市営住宅の無償提供(3戸入居)
就学援助	被災児童・生徒の入学手続き簡素化(9名受入うち3名は帰郷)
災害見舞金・義援金	
京都市から熊本市(100万円)	
京都市会から熊本市議会(70万円)	
支援物資の提供	
アルファ化米:55,450食	
飲料水:34,560本	
トイレトーパー:10,025ロール	

子どもたちからいただいたお礼の手紙



京都刑務所移転跡地活用を

地元意見も踏まえ

刑務所誘致に関心寄せられる

山科区

吉井あきら議員

■吉井あきら議員（質問） 私は、この土地を活用することが山科区の発展、ひいては市全体の発展につながると確信しております。ぜひ、地元山科区民の意見を聞くことも含



山科区で広大な面積を占める京都刑務所



●吉井あきら議員の質疑項目●

- 1 熊本地震を踏まえた今後の本市防災対策について
- 2 京都高速道路の今後について
- 3 学校現場や子ども、保護者に、より伝わる教育改革の推進について
- 4 市周辺部の公共交通不便地域の解消について（要望）
- 5 京都刑務所などの市有地以外の公有地の活用について
- 6 山科区の安祥寺川・四宮川の早期改修について

め、実現に向けた継続的な取組を進めていただきたいと考えますが、いかがでしょうか。

■門川大作市長（答弁）あくまでも非公式にはありません

が、京都刑務所の誘致に関心があるという声もございました。こうしたことを踏まえ、今後は、局長級職員で構成する庁内戦略チームを速やかに設置し、吉井議員御提案の山科区民の皆様の意向把握も実施しつつ、移転先や移転に伴う課題と効果、跡地活用の方向性などの検討を進めてまいります。

周辺部不便地域の交通問題の解決を

吉井あきら議員（要望）

周辺部の公共交通不便地域の解消についてであります。

市バス事業が年々充実する一方で、民間バス事業者が運営を担う周辺地域に目を向けると、バス待ち環境においても路線ダイヤにおいても、近年、大きな進展が見られない中、サービス面で市バス事業との格差が拡大してきております。

「歩くまち京都」の実現に向け、市バス事業が計上することの出来た黒字の一部を活用してでも、民間バス事業者にインセンティブを与え、周辺地域における目に見えた利便性向上策を実現する時期に至っていると思っております。

市周辺部地域の公共交通問題の解決は容易ではありませんが、市バス事業と民間バス事業者との間にあるサービスの格差の是正の観点からも、具体的な取組を早急に検討し、速やかに着実に実施されることを強く要望します。

山科・河川改修で住民不安解消へ

吉井あきら議員（質問）

成25年9月の台風18号の際に、山科区の安祥寺川・四宮川が氾濫し、大きな被害が発生しました。浸水地域の皆さんは、大雨の度に不安を感じておられます。早急に両河川の改修

に取り組んでいけるべきと考えますが、いかがでしょうか。

■門川大作市長（答弁）安祥寺川・四宮川の対策には、相応の期間と多額の費用を要す

可燃ごみ完全午前収集へ

経費抑制し10月実施

西京区

田中明秀議員

■田中明秀議員（質問）ごみ減量の成果も踏まえ、ごみ収集についても一歩踏み出し、「燃やすごみの完全午前収集」

の実現に向けた具体的な検討状況はいかがでしょうか。

■門川大作市長（答弁）現在、御家庭からの燃やすごみの18%が午後からの収集となっておりませんが、業務の更なる効率化を進め、新たな経費を投じる



午後にすれこんでいるごみ収集

となく、本年10月から燃やすごみの完全午前収集を実施してまいります。同時に木の枝や落ち葉を資源ごみとして収集・リサイクルする新たなモデル事業の実施や、学校や公園など、身近な場所に向けて資源ごみ

ることが判明しました。そこで、本市としても、両河川における河川ごとの整備手法や費用負担について、踏み込んで府と協議を重ね、早期の改修実現に努めてまいります。

ど伝統行事と結びついた京の花文化の普及、花を贈り合う習慣の提唱など、花き関連産業の活性化と日本の花文化の継承発展をけん引してまいります。

民泊適正運営府警と連携強化

■田中明秀議員（質問）多様な宿泊施設の拡充のなかで、民泊も増加してきていると思

ますが、全国に先駆けたルール作りに向け、どのように取り組んでいけますか。

花文化の発展で花き産業活性化

■田中明秀議員（質問）京都

市ならではの産業と文化の両面に資する花き関連産業の活性化を推進すべきと感じておりますが、ご所見をお伺いします。

■岡田憲和副市長（答弁）京都には「いけばな」発祥の地であり、今後は、文化庁の京都移転決定を機に、より一層市民の機運を高め、節句や祭

更には、仲介事業者に対し、引き続き、無許可施設のホームページ等への掲載中止や情報提供を申し入れるとともに、新たに、市民の皆様から直接メールや電話で通報いただく窓口を設置し、取組の強化に努めてまいります。

また、周辺住民に対する事前説明や適正な施設運営の徹底などを柱とした宿泊施設に係る新たなルールを構築してまいります。

●田中明秀議員の質疑項目●

- 1 燃やすごみの完全午前収集に向けた更なるごみの再資源化について
- 2 下水道資源の有効活用について
- 3 好調な京都観光の更なる取組について
- 4 民泊における全国に先駆けたルール作りについて
- 5 「花」の振興について
- 6 京都市立芸術大学の跡地活用と洛西地域の活性化について

【代表質問】 5月市会 (5月25日)

京北地域小中一貫校新設

北桑田高校と連携

移住促進、空き家対策も

●右京区
森田 守議員



京都市内の小中一貫教育校における授業風景

■森田 守議員 (質問) 京北地域小中一貫教育校の設置者となる京都市としての考え、そして「生徒減少期における府立高校のあり方検討会議」の対象となっている府立北桑田高校との連携についてご所見をお伺いします。また小中一貫教育校創設後の京北第

●森田 守議員の質疑項目●

- 1 北陸新幹線敦賀以西ルートについて
- 2 自治会の加入率向上について
- 3 京都市建築物耐震改修促進計画について
- 4 待機児童対策について
- 5 京北小中一貫教育校について
- 6 京北の小学校跡地を活用した地域活性化について

一、第二、第三小学校の跡地

活用は、極めて

大きな事業

になってしま

す。周山、細

野、宇津、黒

田元小学校跡

地も含め、実

効性のある跡

地活用に取り

組んでいただ

きたいと思っ

ますが、お考

えをお聞きし

ます。

■在田正秀教
育長 (答弁)

る仕組みの構築などを展開してまいります。

必要だと考えますが、決意をお伺いします。

待機児童 続く さらなる努力を

■森田 守議員 (質問) 本年

4月の保育所等の利用児童数、

待機児童数は何人だったのか、

また、国基準の待機児童ゼロ

の継続に満足することなく、

これまで以上に高い保育水準

の維持向上を推進することが

必要だと考えますが、決意を

お伺いします。

■門川大作市長 (答弁) 本年

4月には、国基準による待機

児童ゼロを3年連続で達成し

大都市の中で、最も保育所に

入りやすくなっております。

今後も、国基準の待機児童ゼ

ロに満足することなく、「京

都で子育てしてよかった」と

実感していただけるよう、力

を尽くしてまいります。

5億9100万円の 補正予算を審議・議決

先の集中審議期間においては、左記に掲げる市政重要事項とそれら予算のしつかりとした使い道や綿密な計画等々について、徹底した審議をした上で可決をいたしました。他の条例等議案の、市の附属機関や市税関連、児童福祉法に基づく人員・設備・運営の基準、風俗営業等の規制・適正化に関する法律の関係条例の整理や市立小学校条例の一部改正、公共事業の契約締結や指定管理などについても自民党京都市会議員団は、しっかりとしたイニシアチブをもって議会運営をおこないました。これからも全市民と京都の未来のために鋭意努力してまいります。

■文化庁関連
京都への全面移転決定を受け、推進開始に関連する経費500万円

■児童福祉
貧困家庭の子ども等の問題解決を目指して、実態調査と実施計画策定のために1000万円

■観光・施設
28年京都開催のスポーツ・文化・ワールド・フォーラムをはじめ、文化財の積極活用モデル事業として、二条城の施設整備等に2億2800万円

■環境
焼却灰溶融施設プラント設備工事に係る損害賠償等請求訴訟の控訴の提起に要する経費4800万円

その他、大型汎用コンピュータのオープン化の推進費用や国民健康保険事業特別会計における繰上充用なども計上。

市政のリーダーシップ 自民党市会議員団

■自民党議員団の所属委員会

	市会改革 推進委員会	常任委員会					市会運営 委員会	特別委員会		
		経済総務	くらし環境	教育福祉	まちづくり	交通水道消防		予算	決算	
委員長	寺田かずひろ			下村あきら		中村三之助	吉井あきら	小林 正明		
副委員長		寺田かずひろ	山本 恵一		田中 明秀			①	②しまもと京司	③椋田 隆知
自民党	橋村 芳和	小林 正明	繁 隆夫	富 きくお	井上与一郎	橋村 芳和	橋村 芳和	繁 隆夫	井上与一郎	橋村 芳和
	寺田かずひろ	寺田かずひろ	山本 恵一	下村あきら	田中 明秀	中村三之助	吉井あきら	小林 正明	富 きくお	中村三之助
	田中 明秀	西村 義直	吉井あきら	しまもと京司	椋田 隆知	津田 大三	田中 明秀	寺田かずひろ	田中 明秀	津田 大三
	吉井あきら	みちはた弘之	加藤 昌洋	田中たかのり	森田 守	平山たかお	椋田 隆知	吉井あきら	下村あきら	山本 恵一
	椋田 隆知						しまもと京司	西村 義直	しまもと京司	椋田 隆知
								みちはた弘之	田中たかのり	平山たかお
								加藤 昌洋	森田 守	

*市会運営委員会の橋村芳和、吉井あきらは理事
*予算決算特別委員会の副委員長欄の○内数字は分科会

政策委員長	椋田 隆知	京都府後期高齢者医療広域連合会議議員	繁 隆夫	人権擁護委員	椋田 隆知	しまもと京司
監査委員	山本 恵一	関西広域連合会議議員	富 きくお	都市計画審議会委員	小林 正明	田中 明秀
						西村 義直
						下村あきら

経済総務委員会

経済総務委員会では、「文化庁の京都移転」「防災」を年間テーマに決め、財政健全化をはじめ危機管理、大学政策、国際交流、情報化推進、産業振興（中小企業、商店街、農林業、新産業等）、観光政策など幅広く議論を行っています。



上京区
寺田かずひろ ○



北区
小林 正明



伏見区
みちはた弘之



西京区
西村 義直

常任委員会の議論と取組

自由民主党京都市議員団

市会の各種委員会は、常任委員会のほかに**市会運営委員会**（市会内部の連絡交渉、その他の議事運営）、**市会改革推進委員会**（監視機能の強化、政策立案機能の充実と市民に開かれた市会の推進）、及び**予算・決算特別委員会**が設置されています。

なお、集中審議期間外の常任委員会は、毎月第2、4週を基本に経済総務委員会を月曜、くらし環境委員会を火曜、教育福祉委員会を水曜、まちづくり委員会を木曜、交通水道消防委員会を金曜に開会しています。

くらし環境委員会

くらし環境委員会では、再生可能エネルギーの導入やごみ半減に向けた2R（リデュース・リユース）と分別・リサイクルの促進、京都が誇る文化芸術の振興と発信による「世界の文化首都・京都」の実現、誰もがスポーツに親しめる環境作りなどを議論しています。



北区
山本 恵一 ○



伏見区
繁 隆夫



中京区
加藤 昌洋



山科区
吉井あきら



またち (京都市会マスコットキャラクター)

皆さんのご意見やご要望をお寄せください。

【自民党京都市議員団】 〒604-8571 京都市中京区河原町御池 jimin3@nifty.com FAX.257-3091



マタリーヌ (京都市会マスコットキャラクター)

氏名の
○は委員長
○は副委員長

教育福祉委員会

教育福祉委員会では、子育て環境の充実、年齢を重ねても輝き活躍できる「健康長寿のまち・京都」に繋がる取組や福祉施策の推進、またすべての子どもの可能性を最大限に引き出し、生きる力を育む学校教育と市民の生涯学習環境の充実に向け議論しています。



下京区
下村あきら ○



山科区
富 きくお



右京区
田中たかひろ



南区
しまもと京司

まちづくり委員会

まちづくり委員会では、市民の安心・安全につながる河川・排水路や道路・公園の整備、景観保全や歩くまち京都の推進、京都駅八条口の再整備、京町家の保全、空き家対策、更に民泊やニュータウンの活性化についても議論しています。



西京区
田中 明秀 ○



右京区
井上与一郎



右京区
森田 守



南区
棕田 隆知

交通水道消防委員会

交通水道消防委員会では、まずは4月14日に発生した熊本地震に対して行なった上下水道局のインフラ整備等の支援活動、消防局の緊急消防援助隊の派遣活動、また交通局においては、地下鉄・市バス事業の客数増に向けた取組などの議論をしております。



上京区
中村三之助 ○



伏見区
橋村 芳和



東山区
平山たかお



中京区
津田 大三